

産業経済 常任委員会

付託案件 4件

議案第53号

湖南省甲西駅前広場条例の一部を改正する条例の制定について

問 三雲駅北口広場にはシエルト（待合所等の屋根）を定めていない理由は。

答 北口は限られた面積にロータリー、障がい者用の乗降場所、タクシー乗り場、駐車場8台とスペースの確保が厳しく、支柱の設置を要するシエルトは予定していません。

全員賛成で可決

議案第78号

第二次湖南省環境基本計画の策定について

問 概要版の内容や配布計画はどのようになっているのか。

答 A4版両面刷り8ページでふりがな付きも作成する予定です。

部数は少数となるが周知のためホームページへの掲載をします。当面は市民や子どもたちの環境学習を目標としており、企業周知や外国語対応は追って考えていきます。

意見 本計画は市民や企業に努力を促すものでもあるため、環境整備は市が責任を持ち、決して怠らないこと。

全員賛成で可決

議案第80号

市道路線の認定

問 認定路線の終点と県道石部草津線の間では自転車や歩行者が通行し、現状では側溝のグレーチング幅が不足のため危険はないか。

答 グレーチングを追加し、対応します。

全員賛成で可決

議案第81号

市道路線の変更

問 今後は市道管理として舗装をするなど考えているのか。

答 周辺事業者の理解もあり、早急には対応しません。

全員賛成で可決

産業経済 常任委員会

事務事業評価

農業振興等拠点施設整備事業

目的 幅広い年代の雇用、多様で魅力的な働く場所の確保。また観光と情報発信の目的とする大型投資事業。

「こごびあ」は3億7,406万円（内閣府補助金1億7千万円）。「HAT」は2億5,852万円（農水省補助金1億750万円）の工費をかけ施設整備を終え、現在、指定管理者により運営を開始。HATにおける成果指標は開設直後のため数値化はできませんが、こごびあにおいては湖南市産農産物の販売額、体験農園を活用した農業振興、来客数とも増加傾向（1割増）であり、

両施設による活性化が期待できます。事業を取り巻く状況の変化においては、今後も付加価値の高い新商品の開発と販売、友好都市の物産をPR、市内企業の製品の活用、国内外からの観光客の呼び込みなどにより対応を行うとのこと。今後の課題としては、費用対効果の観点から経費の削減による適正な管理運営を行なうこと、施設一体（みらい公園湖南）を拠点に農業、地域、産業振興の取り組みを広げていくことが挙げられています。

委員会の意見

■道の駅など今後の方向性を再考すること。
■駐車場、進入路、横断歩道設置への課題を解決し、施設間の物理的連携を改善すること。
■農産物のニーズ調査は適宜行うべきである。以上、事業を拡大して継続すべきものとする。

庁舎整備 特別委員会

第19回審議内容

■複合庁舎レイアウト（案）について

北側正面にはウツクシマツをイメージした庇を、南側窓には石部窓を配置、随所に県産木材を活用した計画で、1階からの階段部分を直線から折り返しに変更したと説明。

問 駐車場の確保と立体駐車場について

答 計画では敷地内に430台。職員用民間借り上げ駐車場も併用したい、立体駐車場はコスト面から困難です。

問 市民への周知対策は十分できているか。

答 ホームページなどを活用し、最新情報の提供に努めます。

問 庁舎実施設計期間

が延びた理由は。
答 議会からの付帯決議を真摯に受け止め、十分な意見調整を図るためと、国の指針変更で着手時期に余裕が出来たためです。

問 中央まちづくりセンターの解体時期が遅れた原因は。

答 当初予算計上済みで、現在着手できていない状況、年度内完了が進めず。

問 今後の財政状況の見通しについて

答 庁舎建設を見越した財政運営の観点から交付金や基金積立などを活用して過度の負担とならないよう実施時期を検討中です。

問 今後の進め方は。

答 西庁舎周辺の方向性議論を高めることも並行して進めるべきでは。
問 東庁舎整備の着手時期は、今後慎重に見極め、西庁舎周辺整備の方向性も併せて熟度を高めます。